

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

(平成23年度対象)

平成24年7月

富津市教育委員会

目 次

点検・評価制度の概要について	1
教育委員の活動状況	2
点検・評価の結果	
1. 庶務課	
(1) 安全・安心な学校施設	7
2. 学校教育課	
(2) 学校評議員事業	9
(3) 私立幼稚園就園奨励事業	9
(4) 要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業	10
(5) 特別支援教育児童・生徒就学奨励事業	10
(6) 学校給食事業	11
(7) 学校給食管理運営事業	11
(8) 児童・生徒の安全・安心の確保	12
(9) 富津市小・中学校再配置構想	13
3. 教育センター	
(10) 教職員研修推進事業	16
(11) 自立支援事業	17
(12) 適応指導教室事業	18
(13) 教育相談事業	19
(14) 特別支援教育推進事業	19
(15) 学力向上推進事業	20
(16) 英語指導員設置事業	20
(17) 外国人英語指導助手活用事業	21
(18) S E 配置事業	22
(19) 小中連携教育推進事業	22
4. 生涯学習課	
(20) 社会教育指導員設置事業	25
家庭教育指導員設置事業	
(21) 生涯学習推進事業関係事業	25
(22) 家庭教育支援事業	26
(23) 視聴覚教育の振興事業	27

(24) 青少年健全育成関係事業	27
(25) 図書館関係事業	28
(26) 文化財保護関係事業	29
(27) 市内遺跡発掘調査事業	31
(28) 民間開発発掘調査事業	32
(29) 富津市直営工事に伴う発掘調査事業	33
(30) 青堀駅東口史跡情報案内所「古墳の里ふれあい館」 整備活用事業	33
(31) 古墳案内人育成支援事業	34
(32) 文化財・文化財施設環境整備事業 (県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業)	34
(33) 高宕山のサル被害防止事業	35

5. 体育振興課

(34) 社会体育振興事業	38
(35) ふれあいスポーツフェスタ事業	39
(36) 市体育施設管理運営事業	40
(37) 第34回千葉県民マラソン大会	41

6. 中央公民館

(38) 中央公民館管理運営事業	44
(39) 市民文化祭事業	44
(40) 中央公民館学級・講座関係活動事業	48

7. 富津公民館

(41) 富津公民館管理運営事業	51
(42) 成人式事業	51
(43) 富津公民館学級・講座関係活動事業	52

8. 市民会館

(44) 市民会館管理運営事業	55
(45) 峰上地区公民館管理運営事業	55
(46) 市民会館学級・講座関係活動事業	56
(47) 市民会館文化事業	57

9. 教育委員会の広報活動

(48) 教育かわら版の発行	59
----------------	----

【点検・評価制度の概要について】

(1)趣旨

教育委員会制度は、合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本の方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な具体の教育的行政事務を執行するものです。

このため、事前に立てた基本方針に沿って具体的な活動が展開されているか、教育委員会自らが事後にチェックするとともに、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進することが求められています。

本報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき平成23年度の富津市教育委員会に属する事務の管理執行の状況について、学識経験者の知見を活用した総合評価を行った結果について報告するものです。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2)学識経験者の知見の活用

点検・評価について客観性を確保するために教育に関し学識経験を有する方の意見を伺いました。学識経験者の評価と意見は、各課等の最後に記載しています。

(3)評価については、3段階(A・B・C)で表わしています。

- A：施策目的の達成に向けて順調に進んでいる
- B：施策目的の達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある）
- C：施策目的の達成に向けて困難な課題がある

【教育委員の活動状況】

富津市教育委員会教育委員名簿

平成24年3月31日現在

職 名	氏 名
委 員 長	宮 田 賢
委員長職務代理者	坂 井 東 子
委 員	稲 葉 一 郎
委 員	池 田 亨
教 育 長	渡 辺 隆 二

委員は、教育委員会会議での審議のほか、教育に関わる会議・研修・行事への出席や施設訪問等を行い、活動の充実に努めています。

(1)定例会議等

4月28日 定例会議開催

- ・富津市社会教育委員の委嘱について
- ・富津市公民館運営審議会委員の委嘱について
- ・義務教育諸学校（市立小学校及び中学校）の教科用図書取扱方針を定めることについて
- ・報告事項

5月26日 定例会議開催

- ・平成23年度教科用図書採択地区協議会委員の選出について
- ・富津市学校給食運営委員会委員の委嘱について
- ・富津市社会教育委員の委嘱について
- ・青堀駅東口史跡情報案内所の設置及び管理に関する条例施行規則の制定について
- ・富津市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
- ・富津市立中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
- ・富津市学校給食調理場の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・富津市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・富津市公民館及び市民会館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・富津埋立記念館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・報告事項

- 6月30日 定例教育委員会会議開催
- ・富津市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則の制定について
 - ・富津市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則の制定について
 - ・富津市体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
 - ・報告事項
- 6月30日 臨時教育委員会会議開催
- ・富津市教育委員会委員長の選挙について
 - ・富津市教育委員会委員長職務代理者の指定について
 - ・議席の指定について
- 7月28日 定例教育委員会会議開催
- ・報告事項
- 8月25日 定例教育委員会会議開催
- ・非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・富津埋立記念館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
 - ・教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
 - ・平成23年度富津市一般会計予算教育費歳入歳出9月補正予算について
 - ・報告事項
- 9月29日 定例教育委員会会議開催
- ・富津市体育指導委員に関する規則の一部を改正する規則の制定について
 - ・富津市立小学校及び中学校の体育施設開放に関する規則の一部を改正する規則の制定について
 - ・富津市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について
 - ・報告事項
- 10月27日 定例教育委員会会議開催
- ・報告事項
- 11月24日 定例教育委員会会議開催
- ・富津市育英資金貸与条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・平成23年度富津市一般会計予算教育費歳入歳出12月補正予算について

- ・報告事項
- 1 2月 2 2 日 定例教育委員会会議開催
 - ・富津市育英資金貸与条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
 - ・平成 2 3 年度富津市教育委員会被表彰者の決定について
 - ・報告事項
- 1 月 2 6 日 定例教育委員会会議開催
 - ・平成 2 4 年度富津市一般会計予算教育費歳入歳出予算について
 - ・平成 2 3 年度富津市教育委員会被表彰者(追加)の決定について
 - ・報告事項
- 2 月 5 日 平成 2 3 年度富津市教育委員会表彰式
- 2 月 1 6 日 定例教育委員会会議開催
 - ・富津市学校給食調理場の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・富津市公民館及び市民会館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・富津市立小学校及び中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について
 - ・平成 2 3 年度富津市一般会計予算教育費歳入歳出 3 月補正予算について
 - ・平成 2 3 年度末退職教職員に対する富津市教育委員会感謝状の贈呈について
 - ・報告事項
- 2 月 1 6 日 臨時教育委員会会議開催
 - ・富津市教育委員会委員の辞職の同意について
- 3 月 2 9 日 平成 2 3 年度富津市退職教職員感謝状贈呈式
- 3 月 2 9 日 定例教育委員会会議開催
 - ・富津市学校医の委嘱について
 - ・富津市学校歯科医の委嘱について
 - ・富津市学校薬剤師の委嘱について
 - ・富津市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則の制定について
 - ・富津市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
 - ・富津市学校給食調理場管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
 - ・富津市学校給食費徴収規則の制定について

- ・ 富津市教育課程編成の基準に関する規程の一部を改正する訓令の制定について
- ・ 報告事項

(2)教育委員の研修等

- 5月23日 平成23年度君津地方教育委員会連絡協議会総会
 7月4日 平成23年度千葉縣市町村教育委員会連絡協議会定期総会
 9月5日 平成23年度千葉縣市町村教育委員会連絡協議会第1回教育委員研修会

全体会（パネルディスカッション）

- テーマ 「教育委員の役割について」
 ～様々な子どもや青年を支えていくために～
- 座長 千葉県教育委員長 天笠 茂 氏
- パネラー 千葉縣市町村教育委員会連絡協議会代表
 浦安市教育委員長 小比類巻 勲 氏
 千葉県都市教育長協議会代表
 香取市教育長 関 亮 氏
 千葉県町村教育長協議会代表
 酒々井町教育長 東條 三枝子 氏

分科会

- 第1分科会 「災害への対応について～今後の防災教育について～」
 講師 教育庁教育振興部学校安全保健課主幹兼安全室長
- 第2分科会 「学校問題解決に関する事例研修について」
 講師 教育庁企画管理部教育政策課主幹兼教育立居室長
- 第3分科会 「フェアプレーの精神を育てるスポーツ、健康体力づくりと食育の推進について」
 講師 教育庁教育振興部体育課主幹兼学校体育室長
 教育庁教育振興部学校安全保健課主幹兼スポーツ振興室長
 教育庁教育振興部学校安全保健課主幹兼保健給食室長
- 1月23日 平成23年度千葉縣市町村教育委員会連絡協議会第2回教育委員研修会
- 講演
 演題 「夢を実現するために」
 講師 車椅子バスケットボール選手 京谷和幸 氏

(3)教育委員の学校訪問等

- 6月24日 学校訪問（金谷小学校）
- 9月28日 学校訪問（飯野小学校）
- 11月15日 学校訪問（吉野小学校）
- 11月18日 伝統文化教育実践研究会（大貫小学校）

1 庶務課	項目(1)
--------------	--------------

(1)	安全・安心な学校施設	評価	B
------------	-------------------	-----------	----------

1. 平成23年度取組目標

学校施設は、児童生徒の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の避難場所としての役割も果たすことから、安全で安心できる学校施設の整備を図る。

耐震補強設計

青堀小学校（体育館）・飯野小学校（体育館）・大貫小学校（体育館）・佐貫小学校（管理、特別教室棟・体育館）・湊小学校（管理、特別教室棟）・天羽東中学校（体育館）

アスベスト除去設計

佐貫小学校・湊小学校・天神山小学校・金谷小学校

耐震補強工事

吉野小学校（体育館）・湊小学校（普通教室棟）・竹岡小学校（普通教室棟・体育館）・環小学校（体育館）・佐貫中学校（校舎・体育館）

改修工事

天神山小学校（受水槽ポンプ交換工事）

放射線測定

小学校 1 2 校・中学校 5 校・旧環南小学校・幼稚園 3 園

2. 取組の実施状況

学校の安全・安心を図るため耐震診断で Is 値 0.7 未満の校舎・体育館等について耐震補強設計、耐震補強工事を進めた。

耐震補強設計は、目標に掲げたとおりの 6 校 7 棟を実施した。

耐震補強工事は、国の経済危機対応・地域活性化予備費及び補正予算を活用し、平成 22 年度からの繰越事業により、目標に掲げたとおりの 5 校 7 棟を実施した。

また、国の平成 23 年度第 3 次補正予算を活用して、次年度に予定した 6 校 7 棟の耐震補強工事予算の確保をした。

アスベスト除去設計は、関係法令の一部改正により含有基準が強化され再検査を実施した。その結果、4 校についてアスベストが混入されていることが判明したため設計業務委託を実施した。

改修工事は、老朽化した天神山小学校受水槽ポンプの交換工事を実施した。

また、平成 23 年 4 月 12 日に発生した、東日本大震災の余震により、飯野小学校の校舎外壁等が剥離したため、災害復旧工事として校舎南側外壁改修工事を実施した。

放射線量の測定は、富津市放射性物質除染計画により実施した。

3. 今後の課題と対応

平成22年度に策定した富津市第3次基本計画に基づき耐震化は計画的に進められ、平成23年度末の市内小・中学校施設の耐震化率は、平成22年度末から11.5ポイント上昇し、82.0パーセントとなった。25年度末の100パーセントを目標とする。

今後は、耐震化が終了する平成26年度以降の施設整備に関する計画づくりが課題である。

外部評価者（Ⅰ）の意見

評 価	B
意見	
<ul style="list-style-type: none">・耐震化率が昨年度から11.5ポイント上昇し、82.0%となったことは目標達成に向けての努力が伺え評価できる。しかし、災害はいつ起こるかわからない。25年度末完了が目標ということではあるが、学校は日々子どもたちの学舎の場であり、地域住民の避難場所でもある。引き続き、1日でも早い工事完了をお願いしたい。・放射線測定等、以前には考えられなかったことが現実のものとなっている。それだけに、財政厳しい中やらねばならないことが多く大変ではあるが、今後も安全・安心な学校施設の整備に向け、頼れる庶務課であってほしい。	

外部評価者（Ⅱ）の意見

評 価	B
意見	
<ul style="list-style-type: none">・厳しい財政事情のもと、校舎等の耐震設計、補強工事を完了目標年度（平成25年度）に向け、国の補助制度を活用し、順次、年次計画により継続的に実施されてきたものの、東日本大震災のようにいつ来るか想定出来得ないなかで、計画残事業につき、完了目標よりも前倒し早期完了が図られるよう積極的な財源確保に努められ、児童生徒が安心安全な環境の下で学校生活を送られるよう更なる努力をお願いしたい。	

2 学校教育課	項目(2)～項目(9)
----------------	--------------------

(2)	学校評議員事業	評価	A
------------	----------------	-----------	----------

1. 平成23年度取組目標

地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携しながら、特色ある教育活動を展開できるよう、校長の求めに応じて、学校運営に関して意見を述べる学校評議員制度を全校で実施する。

2. 取組の実施状況

80名の方々に学校評議員を委嘱し、市内17の小・中学校で本制度を実施した。各学校とも年3回程度の会議を開催した。学校評議員には、授業・各種行事での児童・生徒の様子を直接参観し、小中連携教育全体研修会に参加していただいた。

また、各学校からの実施報告を受けて成果と課題を取りまとめ、評議員の意見とともに教育委員会議や校長会議で報告した。

3. 今後の課題と対応

学校がより地域に開かれ、特色ある教育活動を展開するための意見をいただくために、学校評議員がより正確な情報を得るための機会のより一層の充実に努めたい。

(3)	私立幼稚園就園奨励事業	評価	A
------------	--------------------	-----------	----------

1. 平成23年度取組目標

私立幼稚園の設置者が、保護者から徴収する保育料等を減額または免除する場合に、その設置者に対して補助金を交付し、保護者の負担の軽減を図り、幼児教育の振興を図る。

2. 取組の実施状況

市内に住所を有する補助金該当保護者の子(323名)が通う、市内外の私立幼稚園8園の設置者に対し、補助金を交付した。

3. 今後の課題と対応

近年の低所得世帯の増加により、市の支出負担割合はより一層高くなることが見込まれるが、保護者負担の軽減を図るため、幼稚園と情報を共有しながら予算確保

に努めていきたい。

(4)	要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業	評価	B
-----	----------------------	----	---

1. 平成23年度取組目標

経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、負担能力の程度に応じ学用品費・給食費・医療費等の援助を行い、経済的負担の軽減を図る。

2. 取組の実施状況

準要保護児童107名、準要保護生徒66名、合わせて173名を認定し、学用品費・給食費・医療費等の援助を行った。

要保護児童・生徒については、医療費2名・修学旅行費6名の援助を行った。

3. 今後の課題と対応

平成24年度から2km以上の距離を、安全確保のために公共交通機関を利用して通学する要保護・準要保護の児童に対し、通学費を補助する。

生活困窮世帯の増加により、市の財政的負担が年々多くなることが見込まれるが、今後も予算確保に努めたい。

(5)	特別支援教育児童・生徒就学奨励事業	評価	A
-----	-------------------	----	---

1. 平成23年度取組目標

特別支援教育が必要な児童・生徒の保護者に対し、負担能力の程度に応じ、学用品費・給食費等の援助を行い、経済的負担の軽減を図り義務教育の円滑な実施を図る。

2. 取組の実施状況

特別支援学級在籍の児童20名・生徒14名を認定し、学用品費・給食費等の援助を行った。

3. 今後の課題と状況

平成24年度から2km以上の距離を、安全確保のために公共交通機関を利用して通学する特別支援教育就学援助認定児童・生徒に対し、通学費を補助する。

今後も、保護者の負担軽減を図るため予算の確保に努めたい。

(6)	学校給食事業	評価	A
-----	--------	----	---

1. 平成23年度取組目標

学校給食法では、学校給食が児童・生徒の心身の健全な発達に資するものであり、学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図ることを目的としている。年間194日の給食を実施する。

2. 取組の実施状況

年度当初の計画停電と、感染症予防のために、数日間給食を停止したが、年間190日を超えて配食し、初期の目標を概ね達成した。

食材は可能な限り国産品を使用し、さらに地産地消の推進に努めた。また学校給食衛生管理基準に照らし、共同調理場2箇所、単独調理場3箇所の調理員及び受配校の配膳員等への研修を実施した。

食育を推進するため、「教育かわら版」、「広報ふつつ」、「給食だより」等に啓発記事を掲載するとともに、富津市食育指導全体計画を各学校に周知し、児童・生徒への食育指導を実施した。

給食費滞納(過年度分も含む)に関しては、夜間・休日を含めた滞納者への訪問、子ども手当の支給等に関する特別措置法に基づき、滞納者からの申出による徴収等により、その回収に取り組んだ。

3. 今後の課題と対応

児童・生徒が健全な食生活を自ら営むことができる知識及び態度を養うため「学校給食における食育の推進」を図る。また、給食費の滞納については、富津市債権管理条例及び富津市学校給食費徴収規則等に基づき、その解消に向けて努める。

さらに、放射能汚染等の影響による食材の安全確保については、放射性物質検査の実施等により十分な配慮に努める。

(7)	学校給食管理運営事業	評価	B
-----	------------	----	---

1. 平成23年度取組目標

共同調理場2箇所、単独調理場3箇所にて、学校給食実施基準に照らし安全・安心な給食を実施する。

2. 取組の実施状況

共同調理場2箇所（大貫、天羽）の調理業務の委託を民間会社と3年間の長期継続契約を締結し実施した。また、受配校への配送業務も民間会社に委託し実施した。単独調理場3箇所（青堀小、富津小、飯野小）は直営にて実施した。

施設設備の老朽化に伴い、天羽共同調理場屋根防水改修工事、青堀小学校調理場温水ボイラーの交換等を実施した。

3. 今後の課題と対応

児童・生徒の減少に伴う学校栄養職員の確保や業務の効率化をめざし、安全・安心を前提とした計画的な統合等について検討する。また、施設設備の老朽化や耐用年数の経過した機材が多いことから、維持管理費の増加がみられるので、計画的な更新が必要である。次年度は、大貫共同調理場廃水施設改修工事、天羽共同調理場消毒保管機の交換等を実施予定である。

(8)	児童・生徒の安全・安心の確保	評価	B
-----	----------------	----	---

1. 平成23年度取組目標

児童・生徒の安全確保のため、学校と地域等が連携しながら交通安全、防災、防犯教育の充実や推進を図る。

2. 取組の実施状況

各学校において、避難訓練、交通安全教室、防犯教室等を実施するとともに、危機管理マニュアルの見直しを行った。また、避難場所を高台へ変更して、避難訓練を実施するなど、学校の状況に応じた安全意識の高揚に努めた。

また、子ども見守り隊などの地域ボランティアや学校職員・教育委員会・警察による防犯パトロール、学校と教育委員会合同の街頭指導も積極的に実施した。

さらに、小学校4年生では、ちばっ子地域安全マップの作成をする等、子どもの危機予測や危険回避能力の育成を目指した授業を実施した。

その他、防犯ブザーやランドセルカバーの配布、教員研修、防災無線による呼びかけ等を行い、安全確保に努めた。

3. 今後の課題と対応

引き続き地域や関係機関の協力を得ながら、児童生徒の主体的な活動を通して、安全・安心の確保を図るよう努める。通学路や遊具等の安全点検の充実、地震・津波等への対応を含めた危険等発生時対処要領の更なる見直しを図っていきたい。

(9)	富津市小・中学校再配置構想	評価	B
-----	---------------	----	---

1. 平成23年度取組目標

「富津市小・中学校再配置構想」に基づき、少子化の状況や保護者・地域の要望等をふまえた検討を進める。

2. 取組の実施状況

再配置構想は、「子ども達に、より充実した教育環境を提供する」という基本姿勢のもと、保護者・市民と慎重に協議し、調整を図っていくものであり、調整が図れば、実施計画を策定し、具体的な統合準備に移ることとなっている。平成21年度から継続している関豊小学校と環小学校と共に、平成23年度新たに天羽中学校と天羽東中学校の統合についても両校の保護者・地域住民・教職員に説明を行うとともに、意見の聴取を行った。

3. 今後の課題と対応

各校の保護者・地域住民の意見聴取や話し合いを継続して行い、富津市小・中学校再配置構想に基づいた検討を進める。「富津市小・中学校再配置構想」に示す短期統廃合検討校については、庁内会議、部内会議で協議し、早期に結論を見出せるように努めたい。

外部評価者（Ⅰ）の意見

評 価	B
<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就園奨励、就学援助、就学奨励事業については、市の財政厳しい中、保護者の経済的負担の軽減を図る上で今後も予算確保に努めてほしい。そのことが、子供たちの幸せにつながり、教育の円滑な実施、成果へと結びついていくものと思う。 ・ 食育推進のため、栄養教諭2名による各学校での食育指導が充実してきている。専門的な立場から指導すると、子どもたちの意識も変わる。飽食時代と言われる今日、正しい食生活を身に付け生きていくことは大切なことである。栄養教諭の資格取得者増員を期待したい。 ・ 3. 11 東日本大震災を受け、市全体、学校の防災に対する意識が高まり、危機管理マニュアルの見直しが図られたことは大変良いことである。今後も、常に緊張感を持って安全確保に努めてほしい。 ・ 「小・中学校再配置構想」は、丁寧に説明、意見聴取がなされており、よいと思う。子どもたちのためではあるが、保護者・地域住民としては簡単に納得できない気持ちもわかるので、十分な資料提供と要望をふまえ検討していく中で、結論を導き出してほしい。 	

外部評価者（Ⅱ）の意見

評 価	B
<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内全校に設置された学校評議員には、学校の各種行事を参観するとともに、小中連携教育全体研修会に参加するなど年々進展され良い方向に進んでいるものと思われ、今後更に地域の特色ある教育活動の充実、向上のためより一層推進されることをお願いしたい。 ・ 私立幼稚園就園奨励、児童生徒就学援助及び児童生徒就学奨励の3事業はいずれも幼児又は児童生徒の保護者負担の軽減を図るものであり、財政状況が厳しいなかであるが、可能な限り継続することが望ましい。 ・ 給食費の滞納については、その徴収について努力されていると思いますが、不公平が生じないためにも、徴収方法等検討され、その解消が図られるよう、要望する。 ・ 児童生徒の減少等に対応するため施設の統合等を含め検討は必要と思われ、ものの、耐用年数の経過後の施設備品は財政状況厳しいなかとはいえ、安全安心の観点からも、更新計画策定のうへ継続的に実施できるよう最善の努力を図られたい。 	

- ・児童生徒の安全確保のため地域や関係機関の協力のもとに努力されているが、平成24年4月以降全国で登校中の児童が被害者となる交通事故が続発し、その現場は通学路で発生しておりガードレールなど防護柵のなかった生活道路である一般道での事故であり、当市でも通学路といっても、実態は生活道路である一般道で、幅員も狭く歩道やガードレールなど防護柵が設置されていない道路が多いと思われるが、通学路として安全といえるのか点検見直しを早急に必要と思考されるが、道路管理者等を含む関係部局と協議検討されるとともに地域の事情にあわせた保護策を考える必要からも、早急に対応され児童生徒が安全で安心して通学ができるよう最善の努力を図られることを要望する。

3 教育センター	項目(10)～項目(19)
-----------------	----------------------

(10)	教職員研修推進事業	評価	A
------	-----------	----	---

1. 平成23年度取組目標

平成23年度から小学校で、平成24年度から中学校で実施される新学習指導要領の理解を図り、教育課程の改善・充実を図る。また、若年層教員を中心とした教師力の向上に資する。

2. 取組の実施状況

①夏季研修（希望研修）

講座名	日時	研修内容	講師
新教育課程研修講座(1)	7月27日	人間関係づくりを学ぶ	生稲勇 市原市立三和中学校教諭
新教育課程研修講座(2)	7月29日	困った保護者への対応 マニュアルⅡ	星幸広 NPO法人ちば危機管理支援センター理事長
新教育課程研修講座(3)	8月2日	思考力を育てる言語活動の充実	横田経一郎 南房総教育事務所指導主事
新教育課程研修講座(4)	8月3日	一人一人を生かす学級づくり	飛澤敬子 富津市立佐貫中学校教諭
新教育課程研修講座(5)	8月24日	表現力と活用力を育てる算数・数学科の取組	菅野清次 木更津市立畑沢中学校校長
「ふつつ再発見」研修講座	8月12日	富津のよさを発見する巡回研修	小澤洋 富津市教育委員会生涯学習課文化係長
コンピュータ研修講座(1)	7月29日	エクセル活用	コンピュータ活用専門委員
コンピュータ研修講座(2)	7月29日	パワーポイント活用	コンピュータ活用専門委員
コンピュータ研修講座(3)	8月9日	写真・ビデオの編集	コンピュータ活用専門委員
コンピュータ研修講座(4)	8月9日	写真・ビデオの編集	コンピュータ活用専門委員
教育相談研修会(1)	8月1日	問題を抱える子の支援	花崎みさを 児童養護施設野の花の家園長

教育相談研修会(2)	8月1日	教育相談と生徒指導	多賀義美 南房総教育事務所指導主事
教育相談研修会(3)	8月2日	長期欠席・不登校の理解と対応	金高美津子 不登校児童生徒サポートセンター
教育相談研修会(4)	8月2日	道徳教育を要とした心の教育の推進する教育相談の手法	宇佐美博子 聖徳大学教授
教育相談研修会(5)	8月3日	スクールカウンセリングの実際	鈴木明美 帝京平成大学大学院准教授
教育相談研修会(6)	8月3日	事例を基にした教育相談の基礎基本	上田和子 県スクールカウンセラースーパーバイザー

希望研修については、受講者の関心が高い今日的な教育課題に関わる研修内容に絞ったことにより、昨年度（334名）とほぼ同数の323名と、高い水準を維持できた。

②夏季研修以外の研修講座

新規採用教職員研修会、小・中連携教育推進研修会・特別支援教育研修会・体力向上推進研修会（小学校：体操 中学校：柔道）を実施。

3. 今後の課題と対応

新学習指導要領改訂の趣旨をふまえた授業展開に資するよう、研修講座の充実に努めたい。さらに小・中連携の成果を生かし、「学力向上」を意図した研修体制作りに取り組む。

また、24年度以降、若年層の研修形態が変わるが、従来の「2年目研修」を充実させるなど日常的にサポートしていきたい。

(11)	自立支援事業	評価	A
------	--------	----	---

1. 平成23年度取組目標

不登校、暴力行為、いじめ、児童虐待等の未然防止、早期発見・早期対応につながるような取組について支援し、問題を抱える児童・生徒の個々の状況に応じた支援の充実を図る。

2. 取組の実施状況

(1) 自立支援指導員配置

市内の小・中学校に自立支援指導員を配置することにより、不登校児童生徒やいじめ・児童虐待で深刻な問題行動等を起こす、または、起こすことが懸念される児童生徒に対し、未然防止や早期発見・早期対応に向けた支援を行った。

4名の自立支援指導員を7校に配置し、支援したことによる効果は大きく、学校からの配置希望も多かったが、希望校全てへの対応はできなかった。

(2) サポートチーム会議運営事業

いじめ、暴力行為、児童虐待、少年非行などの学校だけでは対応できない問題行動等に適切に対応するため、児童福祉の専門家等を加えたサポートチームを組織して、問題行動の予防・解決を図った。

平成23年度は、サポートチーム会議を3回実施した。

(3) 自立支援指導員活用

自立支援指導員により、不登校児童生徒の自宅等への訪問による相談・学習支援を行った。

3. 今後の課題と対応

関係機関等との連携をより一層強めて、不登校児童・生徒の解消やいじめ・児童虐待の未然防止や早期発見・早期対応に、今以上に努力するとともに、自立支援指導員の増員に向け引き続き努力したい。

(12)	適応指導教室事業	評価	B
------	----------	----	---

1. 平成23年度取組目標

不登校児童・生徒の自主的及び主体的態度の育成や人間関係の構築を図り、原籍校への復帰を促進するとともに、本市の教育課題である長期欠席・不登校問題の解消を図る。

2. 取組の実施状況

適応指導教室に適応指導相談員2名を配置し、不登校児童・生徒に在籍する学校への復帰を促すための指導・援助を行った。長欠不登校児童生徒の解消に成果を上げている。

・適応指導教室「さわやか教室」運営事業

平成23年度 在籍者6名（中学2年3名、中学3年3名）

延べ通級日数 325日

学校復帰者数 2名（中学3年）

(3年3名は、全員高等学校に進学)

・不適応児童生徒を対象とした体験学習事業

校外学習(鎌倉方面)・高校説明会・自然体験学習(みかん狩り)等に参加し、生徒の自己肯定感を高め、自信をつけることができた。

3. 今後の課題と対応

長欠・不登校児童・生徒の学校復帰を支援するために、学習支援や心のケアサポート等をさらに充実させるとともに、適応指導相談員の増員に向け引き続き努力したい。

(13)	教育相談事業	評価	A
------	--------	----	---

1. 平成23年度取組目標

児童・生徒の不登校や精神疾患等の問題は多様化・複雑化する傾向にある。また、発達障害の疑われる児童・生徒が増加傾向にある。専門医による教育相談を毎月1回実施することで、早期発見・早期解決にあたる。

2. 取組の実施状況

年間10回程度を計画し、平成23年度は8回、12件の教育相談を実施した。

3. 今後の課題と対応

発達障害が疑われる児童・生徒の増加にともない、相談は継続させる必要がある。今後は学校・関係機関・医療機関との連携をさらに密にし、連携の中心的役割を果たしていく必要がある。

(14)	特別支援教育推進事業	評価	B
------	------------	----	---

1. 平成23年度取組目標

発達障害者支援法を受け、発達障害児がその障害の状態に応じ、十分な教育を受けられるようにするために、適切な教育的支援、支援体制の整備等を行う。

2. 取組の実施状況

特別支援教育推進チームによる全小中学校への巡回訪問を実施し、個別の支援を必

要とする児童・生徒への対応・支援方法について助言した。また、児童・生徒を観察する中で、専門機関への相談等も進めた。

特別支援教育連携協議会では、幼保・小・中との速やかな連携、関係部局との連携等、特別支援教育の支援体制について協議を進めた。

また、健康づくり課、児童家庭課、社会福祉課、教育センターにより策定を進めてきた富津市ライフサポートファイル「すこやか」は、平成23年度完成に至った。

3. 今後の課題と対応

市内小中学校の特別支援教育に対する支援体制は整ってきた。個別の支援計画等の作成も進んできている。しかし、保護者の理解・協力が得られず、十分な支援をすることができない児童・生徒もいるので、引き続き発達障害等に関して保護者や地域への啓発に努めたい。

(15)	学力向上推進事業	評価	B
------	----------	----	---

1. 平成23年度取組目標

教育委員会が示す「学校教育の指針」にも、確かな学力を身につけた児童・生徒の育成が柱として掲げられている。児童・生徒一人一人の確かな学力の向上を図り、生きる力を身につけさせる。

2. 取組の実施状況

3名の指導補助教員を市内4中学校に配置し、数学・英語・理科等の教科を中心に、ティームティーチングによる少人数指導などきめ細かな指導を通し、学習支援が必要な生徒へ指導・支援を行い、学力向上に努めた。

3. 今後の課題と対応

平成24年度には、指導補助教員4名を4中学校に、配置することになった。きめ細かな指導をさらに進め、児童・生徒の学力向上を図るため、当面、全中学校への配置に努めたい。

また、学力向上推進委員会を設置し、小・中連携教育の成果を生かした学力向上対策に取り組むたい。

(16)	英語指導員設置事業	評価	A
------	-----------	----	---

1. 平成23年度取組目標

英語指導員を小学校に配置することによって、児童を英語に親しませるとともに、英語を通して外国の文化について体験的理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。

2. 取組の実施状況

英語指導員3名を小学校5・6年生の全ての外国語活動に配置することができ、外国語活動の充実につながった。また、担任教師のアドバイザー的存在となり、指導力向上につながった。

3. 今後の課題と対応

平成24年度は外国語活動が導入2年目となり、3名の英語指導員は引き続き外国語活動の指導・補助を行う。外国語活動の全時間を複数の指導者で行う態勢が維持できた。今後は、研修会等を通じて学級担任の指導力向上にさらに努めたい。

(17)	外国人英語指導助手活用事業	評価	A
------	---------------	----	---

1. 平成23年度取組目標

外国人英語指導助手を外国語活動・英語科授業等に配置することにより、指導の充実を図る。英語を通して、言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーション能力の育成、国際理解教育の推進、異文化交流等を図る。

2. 取組の実施状況

市内小・中学校全校に対して、ALT3名を全授業時間の約半分の時間に配置できた。そのため、外国語活動及び英語科授業の充実につながり、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を図ることができた。平成23年度より小中連携教育をふまえて、中学校区の小・中学校に同じALTを配置し、効果的な活用に努めている。

小学校では、5・6年生の外国語活動はもとより、1～4年生でも学校裁量や総合的な学習の時間等における国際理解教育が推進され、児童の国際感覚の素地が培われた。中学校では、英語科の授業を中心に、言語や文化に対して理解を深めることができた。

3. 今後の課題と対応

平成24年度は中学校の新学習指導要領が完全実施され、授業時数が増加するため、ALTの活用方法を工夫する必要がある。

(18)	SE配置事業	評価	B
------	--------	----	---

1. 平成23年度取組目標

県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業補助金により、市内小・中学校にSE（システムエンジニア）を派遣し、ICT機器を活用した授業支援・校務支援を行う。

2. 取組の実施状況

- ・ICT機器やインターネット等を授業で活用する際の技術的支援や機器等の準備及び授業支援
 - ・学校職員の校務及び授業におけるICT機器等の活用に対する支援及び助言
 - ・学校ホームページの更新、リニューアル
 - ・ICT機器を活用した教材及び校務に関する文書フォーム等の作成
 - ・校務支援システムの不具合への対応
- など、授業の準備や児童・生徒へのICT機器活用の際の支援や教職員の校務支援・助言等を行うことで、学習の活性化、校務の効率化を図ることができた。

3. 今後の課題と対応

残念ながら、本事業は平成23年度で終了となった。今後は、コンピュータ主任会議や教職員研修等を通して、必要な情報提供やICTに関する教職員の力量向上に努めるとともに、問題が発生した際の迅速な対応に努めたい。

(19)	小・中連携教育推進事業	評価	A
------	-------------	----	---

1. 平成23年度取組目標

市内5中学校区の特徴を生かして平成15年度から進めてきた小・中連携教育の研究指定の取組は、本年度が最終年度である。本市学校教育の指針「富津を愛し、富津の未来を託せる児童生徒の育成」の具現化に向け、9年間の取り組みのまとめを行い今後の方向性を明らかにする。

2. 取組の実施状況

各中学校区では、9年間に亘り、地域の実態に応じた様々な活動が展開された。8月には、市内全教職員を対象に小・中連携教育全体研修会を開催し、実践の交流と共有化に努めた。各中学校区で、多くの成果が挙げられたことが、改めて確認できた。

なお、この研修会には、各学校の学校評議員にもご参加いただき、理解を広めるこ

とができた。

3. 今後の課題と対応

小・中連携教育は、富津市学校教育の財産と言える。小学校に続いて中学校も新学習指導要領完全実施の年となった平成24年度以降は、小・中連携教育の成果を維持・発展させながら、特に学力向上を意図した取り組みを充実させたい。

当面、小・中連携教育の中でも目指された小学校体育と中学校保健体育及び、小学校外国語活動と中学校英語の接続、『家庭学習の手引き』作成等について、小・中教員等で組織する学力向上推進委員会を中心に検討したい。

外部評価者（Ⅰ）の意見

評 価	A
意見	<ul style="list-style-type: none">・ 適応指導教室が設置されてから、少人数ではあるが成果を上げている。長欠不登校児童・生徒については本市の教育課題でもあるので、引き続き継続した取り組みをお願いしたい。将来的には、子どもサポートセンターのような独立した設置場所が必要であると思う。ぜひ、検討課題として考えてほしい。 （対人関係が築けない児童・生徒にとって、大勢の人が出入りする公民館は行きづらいの声あり。）・ 特別支援教育推進にあたり、関係部局等との連携により支援体制を整え、富津市ライフサポートファイル「すこやか」を完成したことは成果として評価できる。今後、大いに活用されることを期待したい。・ 9年間の取り組みの最終年度であった小中連携教育推進事業は、本市の教育財産として高く評価したい。今後は、この取り組みの成果を更に生かして学力向上を目指してほしい。・ 総合的に見ると、今日的課題に対応した事業が進められており、更なる今後が期待できる。

外部評価者（Ⅱ）の意見

評 価	B
意見	<ul style="list-style-type: none">・ 小学校が本年度から平成24年度中学校で新学習指導要領が完全実施に伴い新しい教育課程についてのさまざまな取り組みにより研修意欲の向上、充実が図られており、特に夏期研修の内容は今日的な課題に絞ったことにより参加者の関心が高く前年と同数の受講者となり所期の目的に向けた努力が図られていると思う。

今後も研修等のより一層の充実を図り若年層を含む教職員の授業力の向上のため最善の努力をお願いしたい。

- ・市内全校に平成22年度からホームページが開設され、校務、授業等の能率化を図るうえで、有意義なことと置いていたがこの事業（SE配置）が県の補助事業として実施しており、最終年度のため終了するとのことであるが、まだ学校ホームページ開設してまもないため、この更新リニューアル等の対応に支障をきたすと思われ、補助事業期間が終了しても必要不可欠なものは単独事業としても継続して実施すべきと考えられ、この事業は当分の間、継続すべきと思うが検討されるよう要望する。
- ・平成15年度から9年間の計画で推進してきた小中連携教育も最終年度となり、各中学校区の実態に合わせた取り組みが行われるなど多くの成果があり、本市学校教育の財産として高く評価したい。今後はこの成果を維持発展させながら学力向上の充実を図られることを望みます。
- ・総合的には、多くの事業、課題に取り組んでおりほぼ適切に対応されていることに評価するとともに、今後更なる事業の充実を努められることをお願いしたい。

5 生涯学習課	項目(20)～項目(33)
----------------	----------------------

(20)	社会教育指導員設置事業 家庭教育指導員設置事業	評価	B
------	------------------------------------	-----------	----------

1. 平成23年度の取組目標

社会教育・生涯学習関係事業や公民館事業について、社会教育指導員、家庭教育指導員により指導、助言を行い社会教育・生涯学習や家庭教育に関する相談や社会教育団体の育成等に当たる。

2. 取組の概要

社会教育指導員2名が、公民館・市民会館の主催事業等に積極的に関わり、市民サービスの向上に努めるとともに、館運営にも適時アドバイスを受けることができた。また家庭教育指導員1名から家庭教育学級の運営等についての指導・助言を受けることができた。

3. 今後の課題と対応

本市の社会教育指導員の定数は6名以内、家庭教育指導員の定数は3名以内とされている。現状の人数では、指導員の負担が大きく活動に限りもあるため、漸次増員を目指しながら「富津市生涯学習推進計画」の施策推進による市民サービス向上に努めたい。

(21)	生涯学習推進事業関係事業	評価	B
------	---------------------	-----------	----------

1. 平成23年度の取組目標

平成23年度から平成27年度までを計画期間とした「富津市第3次基本計画」との整合性を保ちながら、策定した平成23年度からの「富津市生涯学習推進計画」に基づき、「生涯学習推進大会」をはじめ各種事業を展開する。

2. 取組の概要

富津市生涯学習推進計画の施策の推進を図るため、平成24年2月5日富津公民館において「第12回生涯学習推進大会」を開催した。オープニングアトラクションに君津商業高等学校の吹奏楽部、講師に静岡大学名誉教授の小和田哲男氏をお招きし、「戦国三姉妹と信長・秀吉・家康」と題しての講演を行った。

また、10月15日市役所ロビーにおいて「市制施行40周年記念事業吹奏楽フェスティバル」を開催し、市内中学校3校・高等学校2校協力のもと、広く市民に音楽を楽しむ機会を提供した。

「生涯学習情報提供誌」を17,500部作成し、市内全世帯と関係機関に配布したほか、「ふつつ教育かわら版」でも周知を図り、一人でも多くの市民が生涯学習に関わることができるよう努めた。

多様化する生涯学習への要求に応えるため、人材バンク「まちの先生」登録制度の利用を促進し、優れた知識・技術を有している人々に登録をしてもらい、市民が有効活用できるよう努めた。

生涯学習バスの土日運行の情報提供を図り、学習の場を結ぶ移動手段としての役割の充実に努めた。

3. 今後の課題と対応

「生涯学習推進大会」はより多くの人に参加してもらうため、内容を充実させ市民にホームページや地元紙、広報紙、広報車などを通じてPRを行い参加者の増加を図りたい。人材バンク「まちの先生」も有効活用されてきている状況であるが、今後も生涯学習情報提供誌などを活用し、より一層のPRに努めたい。

「富津市生涯学習推進計画」に基づき、市民一人ひとりが生涯を通じて、いつでも、どこでも、誰でも楽しく学ぶことができ、その成果が活かされるような生涯学習社会の実現を目指したい。

なお、平成23年度好評を博した「吹奏楽フェスティバル」は平成24年度も実施して市民の要望に応えたい。

(22)	家庭教育支援事業	評価	B
------	----------	----	---

家庭教育の充実

1. 平成23年度の取組目標

小・中学生の保護者が主体的に、家庭教育を学ぶことや親子のふれあい活動を実施することにより、家庭を中心とした子どもたちの健全育成及び家庭教育力向上を図る。

2. 取組の概要

小・中学生の保護者や子どもを対象に、家庭教育学級を3小学校と2中学校で開設し、社会教育指導員や家庭教育指導員のほかに地域に密着した講師を招くなどして、家庭教育に対する知識の習得に努め、親子のふれあいとそこから生まれる良好な人間

関係を学ぶことができた。(延べ14回、956人参加)

3. 今後の課題と対応

市内の小・中学校で家庭教育学級を開設し、家庭教育を学ぶとともに親子のふれあい活動の実施に努める。また、保護者の方に興味を持ってもらい特に父親が参加できる内容の見直しやPR方法も検討する。

(23)	視聴覚教育の振興事業	評価	B
------	------------	----	---

1. 平成23年度の取組目標

現代社会において、幼児からお年寄りまで視聴覚教材の活用は必要不可欠となっており、それらを近隣4市で運営する視聴覚教材センターで一括管理し、継続して活用することにより視聴覚教育の推進を図る。

2. 取組の概要

視聴覚教材センターで保管している16ミリフィルム・ビデオテープ・DVD等を貸出し利用促進を図るとともに、視聴覚教材の普及活用のため、16ミリ映写機操作資格者を育成する目的をもって操作技術講習会、操作許可者を対象とした研修会をそれぞれ実施することができ、視聴覚教育の振興を図ることができた。

3. 今後の課題と対応

貸出し利用者数が減少傾向にあるため、広報ふつつ・生涯学習情報提供誌・教育かわら版や市のホームページ等でPR活動に努める。

(24)	青少年健全育成関係事業	評価	A
------	-------------	----	---

1. 平成23年度の取組目標

子ども会や青少年相談員等の協力により、スポーツ・レクリエーション、ボランティア等の体験活動を実施し、次代を担う青少年の健全育成に努める。

2. 取組の概要

(1) 子ども会育成連絡協議会活動

各種の子ども会行事をはじめ、ジュニアリーダー研修会・育成者講習会等を実施し、

子ども会活動の充実が図れた。

また、平成19年度よりジュニアリーダー初級研修会に助成金を交付し、参加者の負担減に努めている。

(2) 青少年相談員連絡協議会活動

67名の青少年相談員を中心に、文化祭への協力、新年子ども大会、キャンプ大会、研修会等の事業を実施し、青少年健全育成活動の推進が図れた。

(3) 青少年問題協議会活動

行政・学校及び各種市民団体代表が集まり、青少年問題とその対策について、警察や学校で把握している事例を中心に協議を行い、その結果を各種団体が活用することにより青少年の健全育成に努めることができた。

(4) 子どもセンター設置事業

子どもの地域における様々な体験活動を充実させ、家庭教育を支援する体制を整備するため、体験活動の機会や家庭教育の支援に関する情報を収集し「子ども・体験・ボランティア情報誌」を発行することができた。

3. 今後の課題と対応

若い世代の減少により、青少年相談員等の人選に苦慮しているが、地域教育力を高め、学校・家庭・地域連携による青少年健全育成を進めるため人材の発掘と育成に努めたい。

(25)	図書館関係事業	評価	B
------	---------	----	---

1. 平成23年度の取組目標

市民のリクエストなどを参考とし市内各読書施設の新刊図書を購入するとともに、移動図書館車の巡回運行により、より充実した図書館運営を図る。

千葉県緊急雇用創出事業補助金を活用し、市内各読書施設及び移動図書館車の蔵書にICタグ付きバーコードラベルを貼付し、図書管理の効率化と利用者の利便性向上に努める。

2. 取組の概要

市内ステーションを16カ所設け毎月2回の移動図書館車の巡回サービスを実施した。

書籍購入については1,250冊で、移動図書館に403冊・富津公民館に293冊・中央公民館に267冊・市民会館に287冊をそれぞれ配本し、蔵書の充実を図

り利用者へのサービス向上に努めた。

また、補助金を活用し、市内各読書施設及び移動図書館車の蔵書に I C タグ付きバーコードラベルを貼付し、図書管理の効率化と利用者の利便性等サービス向上に寄与できるよう努めた。

3. 今後の課題と対応

富津市には公立図書館が無く市内各読書施設では、市民の要望に応えられないこともある。また、必要な図書を探すには職員の勤務時間内の電話による問い合わせしかできない状況である。補助事業で貼付した I C タグ付きバーコードラベルを活用するためにも早期に図書検索システムの導入を図り、利用者の利便性、サービス向上を目指したい。

なお、現状の施設では蔵書の収容限界が近づいているため、書庫の確保について検討したい。

その他、富津市は市域も広く高齢化率も高いため、移動図書館車によるステーションの見直しなどを検討し、きめ細やかな市民サービスに努めたい。

(26)	文化財保護関係事業	評価	B
------	-----------	----	---

(1) 指定文化財管理事業

1. 平成23年度の取組目標

市内にある指定文化財の所有者・管理者等に対し維持管理費を助成して、指定文化財の保存・管理を図る。平成22年度までは管理費補助金として支払っていたが、平成23年度から管理報償費として支給することとなった。

2. 取組の概要

県および市指定文化財の22件に対し、指定文化財の規模や面積、管理の実態に応じて、維持管理費用の一部助成を予算の範囲内で行った。

区 分	名 称
県 指 定	三柱神社本殿など5件
市 指 定	三条塚古墳など17件

3. 今後の課題と対応

古墳や横穴群など規模・面積の大きい文化財については、樹木伐採・草刈など維持

管理に要する労力も大きく、今後その予算確保に努めたい。

(2) 文化財周知板設置事業

1. 平成23年度の取組目標

指定文化財等に説明板を設置することにより、一般市民や史跡見学者へ内容の周知を図る。

2. 取組の概要

平成23年度には、次の文化財説明板と案内標識を設置した。

1. 原口照輪生誕地（富津市川名1360）
2. 小沢家文書（富津市本郷774）
3. 内裏塚古墳史跡案内標識（富津市大堀・大堀亀下交差点）

上記のうち、1と2は既設の指定文化財周知板の老朽化に伴う付け替え、3は新規に設置したものである。

3. 今後の課題と対応

指定史跡の周知板については、個人所有などの理由により必要が認められない一部のものを除いて、おおむね設置が終了している。今後は、老朽化に伴う周知板の付け替え作業とともに、未指定とはいえ、ガイドブックに掲載してある重要度の高い文化財についても周知板を設置していく。

(3) 市文化財整備事業

1. 平成23年度の取組目標

国指定・県指定史跡など市内の主要文化財に対して、樹木の伐採や草刈を実施するなど維持・管理を行う。

2. 取組の概要

事業内容 内裏塚古墳樹木伐採

3. 今後の課題と対応

内裏塚古墳の樹木伐採作業は二間塚共有地管理委員会に委託して継続的に行っており、平成23年度には後円部北東側区域の伐採を行った。当事業については今後も継続していく予定である。

一方、かつてこの事業の中で実施していた飯野陣屋跡土塁の樹木伐採は、平成21～23年度は緊急雇用創出事業により行った。

今後も指定文化財等の除草や伐採など、恒常的な維持管理を行っていく必要がある。

(4)文化財収蔵庫解体工事

1. 平成23年度の取組目標

昭和63年に建設された飯野文化財収蔵庫は建築後20年以上を経て、鉄骨の劣化や壁板の剥離が進み、倒壊の危険もあるため、平成21年からはロープによる地面への固定で対応していたが、限界があるため、収蔵庫内の文化財を他所に移動して、建物の解体工事を実施する。

2. 取組の概要

飯野文化財収蔵庫の収蔵品のうち、土器などの埋蔵文化財については、平成22年度までに湊文化財収蔵庫又は千種新田文化財収蔵庫への移管を完了していた。残る民具類については、その収集に携わった富津市文化協会と協議の上、状態が良いもの、貴重性の高いものを飯野小学校余裕教室（郷土資料室）で展示・保管することで調整が整い、8月17日に地元市民の協力も得てその作業を実施した。

その後収蔵庫の解体工事は11月から12月に実施し、隣接して設置されていたユニットハウスも関係者と調整の上、市役所の敷地内に移設した。

3. 今後の課題と対応

飯野文化財収蔵庫の建てられていた敷地は更地として返還し、文化財の収蔵は湊文化財収蔵庫、千種新田文化財収蔵庫、旧第二庁舎で行っていくが、今後土器などのランク分けを順次行い、保管場所を区別していく必要がある。

(27)	市内遺跡発掘調査事業	評価	A
------	------------	----	---

1. 平成23年度の取組目標

埋蔵文化財が所在する土地に個人住宅等を建設する場合に、事前に発掘確認調査を実施して記録を作成し、遺跡の保存・活用を図る。また内裏塚古墳群のような重要遺跡に対して範囲確認などの学術調査を実施する。

2. 取組の概要

平成23年度には、個人住宅建設に伴う2遺跡の発掘調査と平成22年度に調査を実施した4遺跡の整理作業・報告書作成を、国・県補助事業により、富津市教育委員会の直営事業として実施した。

【発掘調査】

神明原遺跡（第3地点） 富津市下飯野2137の一部 7月13日～15日調査
 富士見台遺跡（第9地点） 富津市湊523-2 7月22日～28日調査

【整理・報告書作成】

飯野陣屋本丸跡 富津市下飯野字本丸907-13
 北笹塚遺跡（第5地点） 富津市二間塚字北笹塚1238-1の一部
 蕨塚古墳（南側周溝） 富津市二間塚字割見塚1763-5、1764-3の一部
 野々間古墳（南東側周溝） 富津市上飯野1721-3、1724-1・2

なお平成23年度の発掘調査遺跡については平成24年度に報告書を作成する予定である。

3. 今後の課題と対応

市内には約450ヶ所の遺跡（埋蔵文化財包蔵地）が所在し、住宅建設等の開発行為に際しては、つねに文化財保護との調整が避けられない。現行の補助制度を活用しながら、個人住宅等の小規模開発に伴う確認調査に対応していく。

(28)	民間開発発掘調査事業	評価	A
------	-------------------	-----------	----------

1. 平成23年度の取組目標

埋蔵文化財が所在する土地に、民間の開発行為が行われる場合、事前に発掘調査を実施して記録を作成する。

2. 取組の概要

平成23年度には、携帯電話基地局建設に伴う下記の遺跡の発掘調査と整理・報告書作成作業を行った。

【発掘調査】

東天王台遺跡（第7地点） 富津市湊字東天王台850の一部
 6月13日～7月9日調査

【整理・報告書作成】

東天王台遺跡（第6地点） 富津市湊字東天王台701ほか（平成22年度調査）
 東天王台遺跡（第7地点） 富津市湊字東天王台850の一部

3. 今後の課題と対応

市内遺跡発掘調査事業（補助事業）では対応できない民間の開発に伴う発掘調査を全額事業者負担によって実施する。なお、調査規模が市の直営事業で対応できない場

合には、民間の調査機関によって発掘調査を行うこととなる。

(29)	富津市直営工事に伴う発掘調査事業	評価	B
------	------------------	----	---

1. 平成23年度の取組目標

埋蔵文化財が所在する土地に、市の直営工事が行われる場合、事前に発掘調査を実施して記録を作成する。

2. 取組の概要

平成23年度には、これに該当する発掘調査は行われなかった。

3. 今後の課題と対応

富津市の直営事業に伴う発掘調査は市の費用負担によって実施する。調査成果の報告については、軽微なものについては『富津市文化財集報』において行う。

(30)	青堀駅東口史跡情報案内所「古墳の里ふれあい館」整備活用事業	評価	A
------	-------------------------------	----	---

1. 平成23年度の取組目標

平成22年度にまちづくり交付金によって建設された青堀駅東口史跡情報案内所を整備し、市の内外から訪れる内裏塚古墳群への見学者に対してのガイダンス施設として活用する。

2. 取組の概要

青堀駅東口史跡情報案内所は建物完成後、3月10日に教育部へ移管され、愛称を市民から公募した結果、「古墳の里ふれあい館」に決まった。その後、各古墳の写真や解説パネルを掲示し、6月1日に開館式を行って市民への供用を開始した。開館後はガイドボランティアの方々の協力を得ながら、内裏塚古墳群ほか市内の史跡案内所として利用されている。建物の概要は下記のとおりである。

所在地：富津市大堀2201（青堀駅東口）

用途：史跡情報案内所・公衆トイレ

構造：鉄筋コンクリート上部木造鋼鉄葺平屋建

床面積：81 m²

案内所開館時間：午前9時～午後5時（年中無休）

3. 今後の課題と対応

青堀駅の西口・東口に設置した史跡案内板や青堀駅自由通路の古墳サインなどとともに、各地から訪れる内裏塚古墳群見学者への便宜を図るとともに、ガイドボランティアの活動拠点としていく。

(31)	古墳案内人育成支援事業	評価	A
------	-------------	----	---

1. 平成23年度の取組目標

平成22年度末に刊行された『内裏塚古墳群総覧（増補改訂版）』や『内裏塚古墳群 富津市文化財ガイドブック』などに基づいて、ガイドボランティアの方々に古墳群のことについて学習して頂き、それをもとに来訪者への案内や説明を行ってもらう。

2. 取組の概要

「古墳の里ふれあい館」の開館を契機にガイドボランティアの再登録を行った。ボランティアの方々には、古墳の里ふれあい館を拠点とした内裏塚古墳群や周辺史跡の道案内を行うとともに、各地からの団体の案内に際しても、職員に随行して説明に加わってもらった。

3. 今後の課題と対応

今後は、生涯学習課職員の随伴なしで、ガイドボランティアの方々のみによる案内の機会を多くしていきたい。同時に団体だけでなく少人数の見学者への案内にも対応していけるようにしたい。

(32)	文化財・文化財施設環境整備事業 (県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業)	評価	A
------	--	----	---

1. 平成23年度の取組目標

県緊急雇用創出事業により、市の管理となっている古墳や文化財収蔵庫周辺の草刈、および飯野陣屋土塁上の樹木伐採などを行って、美観を維持する。

2. 取組の概要

平成23年度には、内裏塚古墳（前方部周溝部分）、上野塚古墳、飯野文化財収蔵庫、弁天山古墳、大貫文化財収蔵庫周辺の除草と、飯野陣屋跡土塁上（北辺・東辺部）、笹塚1・2号墳の樹木伐採を行った。

3. 今後の課題と対応

平成21年度から開始された県緊急雇用による当事業は平成23年度で終了となったが、今後も除草や伐採など、文化財の恒常的な維持管理に対応していく必要がある。

(33)	高宕山のサル被害防止事業	評価	A
------	--------------	----	---

1. 平成23年度の取組目標

天然記念物「高宕山のサル生息地」を遊動域とするニホンザルを管理し、農作物被害の軽減に努めるとともに、サルの生態や群の行動域に関する調査を進め、地域住民と野生動物との調和のとれた共存に向けての作業を恒常的に進める。

2. 取組の概要

平成23年度には、例年に引き続き、被害防止事業（電気柵の維持管理、被害多発期の追い上げ、被害実態調査）、生態調査、個体数管理、環境改善事業を実施した。また10月から、県文化財課、君津市、富津市、調査団による月例の事務局会議を実施し、高宕山周辺のサルをめぐる諸問題について継続的話し合いを行っている。

3. 今後の課題と対応

千葉県自然保護課が平成24年度からスタートさせる「第3次特定鳥獣（ニホンザル）管理計画」に基づいて、当事業の在り方、存在意義を明確にしていく。

今後は、発信器装着等による生態調査、群管理、環境改善などを本事業の主目的化していく必要がある。

外部評価者（Ⅰ）の意見

評	価	B
意見		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 23年度からの「富津市生涯学習推進計画」に基づき、各種事業が計画的に実施されている。また、「生涯学習情報提供誌」市内全世帯配布や「教育かわら版」でも周知を図るなどPRに努めている。 ・ 青少年相談員を中心とした青少年健全育成活動が実施されており、子どもたちによい影響を与えている。今後も充実した活動を進めていくため相談員の人材確保に努めてほしい。 ・ 文化財事業について様々な取り組みがなされている。本市に住んでいながら気づかずに過ごしてしまう場合が多いが、市の財産を大切に管理し、広めていくことはまちの活性化にもつながる。そのための更なる環境整備をお願いしたい。 ・ 図書館がない本市なりに移動図書館車の巡回サービスを実施している。市域も広く高齢者も多いので、今後も継続してほしい。併せて、蔵書の確保、充実を期待する。 		

外部評価者（Ⅱ）の意見

評	価	B
意見		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 富津市第3次基本計画を基本とした、平成23年度からの富津市生涯学習推進計画の施策推進を図るため、例年に引き続き生涯学習推進大会をはじめ各種の活動の充実が図られており、特に「市制施行40周年記念事業吹奏楽フェスティバル」は市内で吹奏楽部を有する市内中学校3校、高等学校2校の協力のもと吹奏楽部合同演奏会を実施し、市民から好評を得ておりこれからも感心度の高い事業は引き続き継続されることが望ましい。 ・ 市民が有効利用できる、人材バンク「まちの先生」は生涯学習情報提供誌や「ふっつ教育かわら版」を各世帯に配布し周知を図っているもあまり活用されていないのではと思われ、更なるPR方法など検討されこの事業が有効活用されるよう最善の努力を望む。 ・ 図書館がない当市でも移動図書館車及び市内各読書施設で市民の読書意欲を満たしている現状のなか、必要な図書を探すとき職員が電話による問い合わせで対応している状況で、今回、県の補助事業を活用し蔵書にICタグ付きバーコードラベルを貼付したのでこれを活用のため検索システムの導入を図り市民サービスの向上のため早期設置が図られるよう特段の配慮を切望する。 <p>文化事業については、国県指定史跡をはじめ、内裏塚古墳群などを含め今回建設さ</p>		

れた青堀駅東口史跡情報案内所「古墳の里ふれあい館」を拠点に観光と一体となり古墳のまち富津として街おこしの一助となるようガイドボランティアの更なる育成と施設整備の推進に努力されることを要望する。

5 体育振興課	項目(34)～項目(37)
----------------	----------------------

(34)	社会体育振興事業	評価	A
-------------	-----------------	-----------	----------

1. 平成23年度取組目標

市民がスポーツに親しみ、豊かな生活が営まれるように各種スポーツイベントを実施する。

また、スポーツ推進委員及びスポーツ・レクリエーション推進員の指導により、誰でも気軽に参加できるニュースポーツの普及に努める。

2. 取組の実施状況

大会及び行事名	会場名	参加人員
富津市長杯争奪少年野球大会	臨海野球場他	165
富津市教育長杯争奪少年サッカー大会	臨海陸上競技場	150
第29回F T S杯争奪少年剣道大会	富津中学校体育館	103
第18回F T S杯争奪少年柔道大会	富津中学校武道場	171
「県民の日」記念第28回グラウンドゴルフ大会	佐貫運動広場	108
「県民の日」記念第28回バドミントン大会	総合社会体育館	299
第30回F T S杯争奪少年野球大会	臨海野球場他	165
第17回健康ウォークラリー大会	市民ふれあい公園	83
君津地区スポーツレクリエーション祭歩け歩け大会	富津公園	294
第30回F T S杯争奪インディアカ大会	総合社会体育館	10
第20回F T S杯争奪ソフトバレーボール大会	総合社会体育館	57
第17回F T S杯争奪グラウンドゴルフ大会	佐貫運動広場	93
君津地区スポーツレクリエーション祭(インディアカ・ソフトバレーボール)	木更津市民体育館	38
富津市教育長杯争奪少年野球新人大会	臨海野球場他	165
第36回ママさんバレーボール大会	総合社会体育館	204
第41回元旦歩こう大会	富津・大佐和・天羽地区	368
第41回新春バドミントン大会	総合社会体育館	229
第24回新春グラウンドゴルフ大会	佐貫運動広場	106
スポーツ教室(毎週土曜日)	総合社会体育館	3,899
第2回富津市バスケットボールフェスタ	総合社会体育館	1,101

3. 今後の課題と対応

スポーツ推進委員やスポーツ・レクリエーション推進員と連携を図り、マンネリ化しないよう新しい競技種目を取り入れるなど、多くの方がスポーツに親しめるよう今

後の方策を検討する。

また、市民にホームページや地元紙などを通じて各種大会のPRをし、参加者の増加を図る。

(35)	ふれあいスポーツフェスタ事業	評価	B
------	----------------	----	---

1. 平成23年度取組目標

市民の手づくりによる健康づくり、体力づくりを目的に多くの市民がスポーツに親しめるよう実施する。

また、大会終了後も反省点等を来年に活かせるように実行委員会を開催し検討する。

2. 取組の実施状況

事業名	金額(円)	事業内容	成果・効果	
ふれあいスポーツ フェスタ	1,736,113	第1部会：体力測定、 ストラックアウト、フリーキック・サッカー教室 第2部会：グラウンドゴルフ、ドッジボール、輪投げ、玉入れ 第3部会：100m・1000m・ 1500m・4×100m、 ゲートボール 第4部会：○×クイズ	内 訳	人 数
			参加者	1,857
			大会役員	453
			観 客	300
			合 計	2,610

今回初めての試みとして、開会式に千葉県立君津商業高等学校吹奏楽部、富津市立富津中学校吹奏楽部の生演奏により入場行進を実施し、参加者から好評を得た。

3. 今後の課題と対応

実施日が体育の日ということで、実行委員会立ち上げから大会までの準備期間が例年短いため、実行委員会で十分な議論ができず、この事がマンネリ化の要因の一つとも考えられることから、今後は早期に実行委員会を立ち上げ準備を進めていく必要がある。

(36)	市体育施設管理運営事業	評価	A
------	-------------	----	---

1. 平成23年度取組目標

市民の心身の健全な発達と、明るく豊かな市民生活の形成に寄与し、市民の間にスポーツについての理解と関心を深め、かつ、積極的にスポーツをする意欲の高揚を図ることを目的として体育施設が設置されている。

平成18年度からは、指定管理者制度を導入し、平成18年度～平成20年度、平成21年度～平成25年度の期間を財団法人富津市施設利用振興公社を指定管理者として管理運営を実施し市民サービスの向上を図っている。

2. 取組の実施状況

施設名		利用回数	利用人員	使用料(円)	
富津運動広場		82	2,245	139,150	
新富運動広場		121	9,846	167,950	
浅間山運動公園		476	2,471	テニスコート	854,690
		99	4,042	野球場	444,230
総合社会 体育館	主体育館	311	55,509	1,330,615	
	小体育館	481	7,073	816,040	
	トレーニング ルーム等	46	822	44,040	
合計		1,616	82,008	3,796,715	

※平成24年3月末現在

日本バスケットボール協会のルール改正に伴い、総合社会体育館のメインアリーナ及びサブアリーナのバスケットボールコートデザインを変更した。

東日本大震災に伴う計画停電のため、総合社会体育館のメインアリーナは5月末まで、浅間山運動公園テニスコートは9月末まで、夜間の利用を休止した。

3. 今後の課題と対応

施設の老朽化に伴い各施設ともに補修等が必要な箇所が年々増加している。

今後、計画的に施設の補修を進めていく必要がある。

また利用者の増加を図る方策として、市及び指定管理者のホームページ、広報紙、地元紙などを通じて施設のPRを図り利用者の増加を図る。

(37)	第34回千葉県民マラソン大会	評価	A
------	----------------	----	---

1. 平成23年度取組目標

市民等の心身の健全な発達と、スポーツ振興や会場に富津市の名産品などの紹介や販売を行うことにより観光振興に寄与することを目的として千葉県民マラソン大会を実施する。

2. 取組の実施状況

千葉県民マラソン大会史上最多の5, 164人の参加申込があり、スポーツ振興に寄与するだけでなく、会場で富津市の名産品の紹介や販売を行うなど交流人口拡大と観光振興に繋げることができた。

組数	スタート 時間	種 目	エントリー数	完走者数
1組	9:30	ハーフ男子（39歳以下）	1073	883
		ハーフ男子（40歳以上）	1291	1077
		ハーフ女子（18歳～39歳）	184	145
		ハーフ女子（40歳以上）	164	133
2組	9:40	2km小学生男子1～3年	132	118
	9:50	2km小学生女子1～3年	91	82
3組	10:00	2km小学生男子4～6年	169	153
	10:10	2km小学生女子4～6年	133	121
4組	10:20	3km中学生男子	165	150
		3km中学生女子	91	73
5組	10:30	10km男子（39歳以下）	653	559
		10km男子（40歳以上）	592	494
		10km女子（18歳～39歳以下）	270	235
		10km女子（40歳以上）	156	133
合 計			5,164	4,356

3. 今後の課題と対応

過去最多の参加申込があり選手受付や記録証発行の迅速さなどに問題が生じた。
 また、アクアライン値下げの関係から多くの参加者が富津市に宿泊をしてもらえなかった。
 今後は記録証発行などの窓口や駐車場などの増設や宿泊客増加のための企画も検討する必要がある。

外部評価者（Ⅰ）の意見

評 価	A
<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県民マラソン大会に、史上最多の参加申込みがあったことはすばらしい。またその際に、富津市の名産品などの紹介や販売を行ったことは市の観光振興に寄与するものであり大会をより盛り上げ交流の場として有効であったと思う。今後も、参加申込みの増加が予想されるので、安全面の配慮、迅速な対応に策を講じてほしい。 ・スポーツ推進委員、スポーツ・レクリエーション推進員と連携を図り、市民がスポーツに親しめるようにしている。マンネリ化を防ぐためにニュースポーツの普及にも努めておりよい傾向である。各大会の参加人数の増減については、目標達成人数等がわからないので、実施状況の分析をもう少しわかりやすく示すと評価しやすい。 ・時間のかかる体育施設の補修工事は勿論のこと、更なる日常点検、安全管理の徹底をお願いしたい。 	

外部評価者（Ⅱ）の意見

評 価	B
<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のスポーツ活動は比較的熱心で盛んに行われている。これはスポーツ推進委員及びスポーツ・レクリエーション推進員の指導による行事をはじめ各競技団体関係者等の努力により多くの人が健康と体力づくりにスポーツ、レクリエーションを親しみ効果をあげている。今後は更に新しい種目などを取り入れるなど多くの市民がスポーツ、レクリエーションを楽しめるよう検討され、スポーツ振興のため努力されることを望む。 <p>また、体育施設は土日、祝祭日の利用者は多いが平日の利用者（特に昼間）の増加を図る方策として、PR方法を含む検討が必要と思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の手づくりによるスポーツフェスタは参加者の減少傾向のなか、事業内容等 	

を含む市民が気軽に楽しく参加出来るものなど過去の実績をふまえ再検討する必要があると思考される。

中央公民館	項目(38)～項目(40)
--------------	----------------------

(38)	中央公民館管理運営事業	評価	B
-------------	--------------------	-----------	----------

1. 平成23年度取組目標

生涯学習の基盤であり、社会教育施設の中核でもある公民館の、適正運営及び施設の充実を図る。また、設備の更新や改修を進める。

2. 取組の実施状況

市民の自由な憩いの場や学習の場としての公民館の管理・運営を行い、また公民館運営審議会に各種事業の調査審議を諮り、サークル活動や文化活動、スポーツ・レクリエーション活動等の市民の利用促進、地域文化の向上を図った。

3. 今後の課題と対応

中央公民館は、昭和47年度に建設された施設であり、設備は老朽化に伴い、各種保守点検及び修繕を重ねても、利用者の要求に対応が出来ない箇所が毎年増加してきている状況である。

特に、消防法、建築基準法等に定められている設備や舞台関係設備に整備改善の要請を受けている。また、21年度に実施した耐震診断結果がI s値を満足する結果であったため、今後とも継続して計画的な施設整備を図る必要がある。

なお、東日本大震災に伴い、引き続き節電に努めるものとする。

(39)	市民文化祭事業	評価	B
-------------	----------------	-----------	----------

1. 平成23年度取組目標

市民の生涯学習活動の成果を発表し、市民相互間の親睦と融和を図ることによってより豊かな文化の向上と創造の心を養う。

目 標 項 目	実 績 平成23年度	計 画 目 標 平成23年度	計 画 最 終 目 標 平成27年度	達 成 状 況
市民文化祭参観者数	16,160人	19,000人	21,000人	一部雨天の影響により減となった

2. 取組の実施状況

市民自ら積極的に運営に参加できるよう富津市民文化祭実行委員会を設置し、各館ごとの部門別の組織により、企画・運営をすることで、手作りの文化祭とするようにした。

総合社会体育館・富津公民館・中央公民館・市民会館の4会場で5日間実施し、作品展、保育所(園)・幼稚園の園児作品、市民による写真・絵画・書道・生花・工芸作品など1,911人、3,141点の作品、子どもまつり・演劇・歌・踊りなどを催し、芸能部門出演者2,013人、参観者延人数は、16,160人を数え、市民の参加、相互間の親睦と融和、豊かな文化の向上と創造の心を養うことを図った。

富津市民文化祭2011(平成23年度)の概要

月 日		10/28	11/3	11/4	11/5	11/6	参観者 数合計
会場及び事業内容		(金)	(木)	(金)	(土)	(日)	
総合社会体育館	(展 示) 絵画・写真・書道 篆刻・絵葉書俳画 編み物・生花・木彫 指物・個人作品 文化祭ポスター・ メインテーマ応募 作品等 (催し物)茶席		309	159	280	277	1,025
	(メイン) 子どもまつり					3,130	3,130
富	小中学校音楽の集い	1,400					1,400

津 公 民 館	(芸 能) 舞踊・歌謡・気功 和太鼓・3B体操 太極拳・手話ダンス フラダンス・仕舞 司会術・祭り太鼓 謡曲・舞台照明 ギター・ハーモニカ演奏				580		580
	(催し物) 韓国の劇 気学無料鑑定会					113 8	113 8
	(展 示) 富津公民館教室作品・ 子ども作品 国際交流協会活動展 小中学校造形展 小中学校科学工夫・論 文展・生け花 竹浮書絵影 パッチワーク 富津市文化財展		496	169	1,612	1,655	3,932
中 央	(芸 能)メイン含 津軽慢芸ショー 琴・歌謡・太極拳 コーラス・健康体操 リズム体操・フラダンス 司会術・舞台照明 舞踊		750				750

公	(催し物)					
	俳句大会				18	18
	短歌会			17		17
	将棋大会	40				40
	太巻き祭り寿司 模擬店				46	46
		650				650
民 館	(展 示)					
	陶芸・押し花					
	草木染め・写真					
	和紙ちぎり絵					
	俳句・短歌					
	すみえ絵手紙					
	和紙工芸・盆栽	1,136	410	370	316	2,232
	生花・万灯神輿					
	公民館教室作品					
	私公立保育園(所)、私 立幼稚園作品 小久保藩資料展等 つつじ苑デイサービス センター作品					
市 民	(メイン)					
	井上由美子 メモリアルコンサート	315				315
	(芸能)					
歌謡・民謡・舞踊						
フラダンス・三味線						
大正琴・構成吟・合吟				422	422	
シャンソン・詩吟						
箏、尺八・コーラス						
司会術・舞台照明						
ヒップホップダンス						
民	(催し物)					
	シェイプアップヨガ			15		15
	社交ダンス			80		80
	囲碁大会			28		28

会 館	(展示) 折り紙・七宝焼 公立保育所、 幼稚園作品 鬼泪山市民の会資料 ちぎり絵・押花		398	232	272	457	1,359
	水彩画・ソーイング パッチワーク						
合 計		1,400	4,094	970	3,254	6,442	16,160

3. 今後の課題と対応

毎年、事業の実施に多くの関係者の協力を得ているが、施設備品に限度があり、内容的にも毎年同じようなものになりがちで、参加者が限られてきた。

そこで、市民文化祭の反省会を基に、開催期間の見直しや、PRの充実、近隣高校生への参加の呼びかけなど、積極的な活動を展開していくものとする。

(40)	中央公民館学級・講座関係活動事業	評価	A
------	------------------	----	---

1. 平成23年度取組目標

住民の生活課題、地域社会の共通課題を把握するなど、多様化するニーズに対応するため、最新の学習手法をとりいれ、市民に学習の機会を提供し、市民の生涯学習に対する意識の高揚と学習意欲の向上を図り、地域文化の発展に寄与する。

目標項目	実績 平成23年度	計画目標 平成23年度	計画最終目標 平成27年度	達成状況
学級講座数	17学級	16学級	20学級	計画通り

2. 取組の実施状況

対象別（青少年・婦人・成人・高齢者等）や課題別（歴史文化・工芸・健康等）の17学級・講座を開設し、市民に学習の機会を提供し、人づくりや地域づくりに寄与した。なお、今年度は、新たに「はつらつウォーキング教室」と「はじめてのクラシックギター教室」を行った。

学級・講座開催状況

平成24年3月31日現在

	講座の名称	開催回数	参加延人員	講座の主旨と内容
1	ピッコロ学級	9	281	幼児の心身の発達、健康についての講義や移動学習、集団での遊びの実習。
2	シルバー生きがい学級	8	208	高齢者がいきいきと生活できるように、健康についての講義、軽スポーツ・レクリエーションや実習、社会見学等を交えながら学習していく。
3	さわやか女性セミナー	11	317	暮らしに役立つ課題や社会情勢などについて、見学、講義、実践を行いながら学習する。
4	折り紙教室	9	114	伝承折り紙から創作折り紙まで、アートとしても楽しめる折り紙の作品づくりを学ぶ。
5	クッキング教室	9	110	化学調味料をなるべく使わない体にやさしい料理を学ぶ。
6	はつらつウォーキング教室	10	193	ウォーキングのコツ、注意点及び効果などを学び、正しく美しく快適に歩くことにより、心身の健康増進をはかる。
7	読み聞かせボランティア入門講座	4	28	読み聞かせボランティアの未経験者を対象に本の読み聞かせの技術について実践を交えながら学習していく。
8	携帯電話の使い方教室	6	66	中高年を対象に携帯電話を気軽に利用できるようにし、生活の利便性を拡大する。
9	パソコン教室 (IT講習)	3	63	文書や表の作成、インターネットの接続と利用、年賀状作り等テーマごとに初心者向けの基本操作を学習する。
10	外国人のための日本語講座	24	315	在日外国人が日本で生活するうえで言葉の壁を少しでも減らし、地域の人とのコミュニケーションがとれるようにする。
11	こどもチャレンジ教室	4	163	創作や体験を通じて自発性、活動性、創造性を育てる。
12	中国語入門講座	19	232	日本の隣国である、中国の言語と日常会話を学び中国の伝統文化等をあわせて学習する。
13	はじめてのクラシックギター教室	10	154	クラシックギターの持ち方から演奏まで、初心者のために1から学習する。
14	いきいき健康体操教室	9	152	自分の体の状態と弱点を知り、身の周りある用具を使って、弱点を克服する体操を学んだり、グラウンドゴルフ・レクゲームを行ったりして心身の健康増進を図る。
15	紙バンド手芸教室	9	142	古紙から再生される環境に優しい紙バンド(エコクラフトテープ)で、ミニかごやバッグ、小物入れなどを作り、手芸の楽しさを学ぶ。

16	アロマリフレッシュ教室	5	109	植物に由来する自然の香りを生活に取り入れ、心身の健康や美容の増進を図る。
17	こども折り紙教室	4	167	親から子へ、子から孫へと受け継がれてきた日本の伝統工芸折り紙を楽しむ。
	合計	153	2,814	

3. 今後の課題と対応

多様化している市民のニーズに対応した学級講座の開設は、職員の人数等を考慮した場合対応が困難な状態であるが、学校や地域の各種団体等と連携し、事業内容を検討し、誰もが参加しやすい環境づくりを図る。また、館外学習を実施するときは、生涯学習バスの運行日程等の調整、或いは民間バスの利用を考慮するなどして計画する。

外部評価者（Ⅰ）の意見

評 価	B
<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化に伴い、整備改善に苦慮していることが理解できる。しかし、日々大勢の人々に利用されている公共施設なので、点検を怠ることなく十分な安全管理の下事業を実施していくことをお願いしたい。 ・市民のニーズに対応した学級講座が開設され、利用状況等良好であると感じている。しかし、職員数等を考慮すると対応が困難な状態であることをまず解消することが先決であると思う。講座数を増やすことが目標とあるが、その前に無理のない対応策を検討することに努めてほしい。 	

外部評価者（Ⅱ）の意見

評 価	B
<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和47年度に建設された施設で、設備とも老朽化が進んでおり修繕等を重ねて維持管理しているものの年々増加の傾向にあり、また災害時の地域住民の避難場所でもあることを考慮のうえ整備計画を策定し計画的な改修により、より安全安心な施設として市民が利用できるより最善の努力を図ることを要望する。 ・活動は、地域の生涯学習の拠点として多様化するニーズ対応するため苦慮して取り組んでおり学級講座も例年同様の開設をし幅広い活動が展開され、地域文化の向上に努力されている。 	

7 富津公民館	項目(41)～項目(43)
----------------	----------------------

(41)	富津公民館管理運営事業	評価	B
-------------	--------------------	-----------	----------

1. 目標

生涯学習の基盤であり、社会教育施設の中核でもある公民館の、施設整備と適正な管理運営を図る。

2. 取組の概要

市民の学習、文化活動の拠点施設として適切な保守管理を行い、安全で利用者に親しまれる公民館づくりを進め、サークル活動や文化、レクリエーション活動等の利用促進による地域文化の向上を図った。

3. 今後の課題と対応

富津公民館は、建築後 27 年が経過し、老朽化による設備故障等の発生頻度が年々高まる傾向にあるが、公民館の運営や事業活動に支障をきたすことのないよう、日常的な施設の保守管理に努めるとともに、財政状況を踏まえた長期改修計画等を策定した中で、施設整備を進めたい。

(42)	成人式事業	評価	A
-------------	--------------	-----------	----------

1. 目標

新しく成人となった青年を祝福するとともに、次代を担う社会の一員としての自覚を高め、権利と義務についての認識を深める。

目 標 項 目	実 績 平成 2 3 年度	計画目標 平成 2 3 年度	計画最終目標 平成 2 7 年度	達成状況
成人式参加者数	4 4 2 人	4 4 0 人	3 8 1 人	計画通り

2. 取組の概要

成人を祝って、富津公民館を会場とした式典を平成 24 年 1 月 8 日に開催し、新成人の意見発表のほか記念品の贈呈等を行った。

今年の新成人該当者は 550 人で、内 442 人が式典に出席し出席率は 80. 4%であった。

3. 今後の課題と対応

富津市では、5年前から「成人の日」の前日を式典開催予定日とし、消防本部との事前調整を経た中で、午前中に出初式、午後が成人式という形で行っており、今後もこの形を継続実施して定着化を図りたい。

また、現在、県内ではほとんど見られなくなったが、新成人への記念品として、式典会場での全体集合写真を贈呈し好評を得ていることから、今後も可能な限り継続したい。

次代を担う新成人を祝福し激励することは、豊かな地域づくりを推進する上からも大変意義深いことから、式典の内容等について適宜検討を加えつつ、今後も継続して実施すべきものとする。

(43)	富津公民館学級・講座関係活動事業	評価	A
------	-------------------------	-----------	----------

1. 目標

市民の生涯学習に対する意識の高揚と学習意欲の向上を図り、地域文化の発展に寄与する。

目 標 項 目	実 績 平成23年度	計画目標 平成23年度	計画最終目標 平成27年度	達成状況
学級講座数	14学級	14学級	18学級	計画通り

2. 取組の概要

平成23年度は、対象別（婦人・成人・高齢者等）や課題別（教養・歴史文化・工芸・園芸・健康等）に、目標とした14学級・講座を開設し、学習内容の充実に努めるとともに、利用者に発表の場を提供するなどの幅広い公民館事業を展開して、市民の学習参加や自主活動等による地域文化の向上を図った。

学級・講座開催状況

平成24年3月31日現在

	講座の名称	開催回数	参加延人員	講座の主旨と内容
1	高齢者教室	8	375	年齢を重ねても健康で充実した生活を送るため、幅広い知識や教養、健康増進法などについて学ぶ。
2	女性の趣味・教養講座	7	128	女性の教養や趣味を広げるきっかけとなる学習をする。

3	園芸教室	10	184	花や樹木の手入れ、管理方法から、草花の種からの育て方、鉢の寄せ植え、樹木の移植、用土作りなど、園芸技術を学習する。
4	男の料理教室	8	168	手軽に作れる日常の惣菜など、初歩的な調理技術と酒の肴など、男性ならではの実践的な料理づくりを学ぶ。
5	東京湾学講座	14	709	富津岬を中心に東京湾岸の歴史や文化、自然などについて、幅広い知識を学び、また探査会を実施し学習していく。
6	ヨガ教室	7	130	呼吸法を中心に、二人組での操作法によるほぐし時間を取り入れ、運動不足や生活習慣病の改善、ストレスに負けない心を磨く。
7	やさしい介護講座	7	58	介護の基礎的な知識と実践についての指導を通し、様々なケースの介護知識の習得と体験を通して障害者等の介護法を学ぶ。
8	健康体操教室	9	149	菜の花体操・ボール体操・リズム体操・ストレッチなどを織り交ぜた楽しい体操を通して、心と体をリフレッシュさせる。
9	わらべ歌教室	7	114	乳幼児と保護者を対象にして、子育ての中に、わらべ歌遊びを取り入れ、親子のふれあいを深める。
10	韓国語教室	16	266	日本の隣国である韓国の言語と日常会話を学び、韓国の伝統文化についても、あわせて学習する。
11	パソコン教室	3	32	パソコンの初心者を対象に、基本操作と文書作成（ワード）・表計算（エクセル）・インターネット接続等を習得する。
12	大人チャレンジ教室	1	21	日常生活の中では、なかなか体験できない伝統文化・技術などにチャレンジする。
13	エコパッチワーク教室	6	86	エコ、リメイクの意識を高めるため、古着の布を組み合わせて使用し、パッチワークを学ぶ。
14	健康チャレンジ教室	3	36	熟年層を対象にウォーキング、体操を取り入れ、肥満や運動不足からくる生活習慣病の予防、ストレスの解消を図る。
	合計	106	2,456	

3. 今後の課題と対応

公民館活動には、地域住民の生活課題、地域社会の共通課題など、多様化する市民ニーズに応じた学習の機会を、継続的に提供することが求められているが、人員的に限られた中での対応は厳しい状況にある。

しかしながら、今後も、事業内容や学習手法等を十分検討するとともに、地域の利用者や各種団体等と連携して、誰もがより参加しやすい環境づくりを進め、地域住民の学習意欲の向上と地域文化の発展に努めたい。

外部評価者（Ⅰ）の意見

評 価	B
<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当施設は、建築後27年が経過し、老朽化が目立つ傾向ではあると思うが、他の施設に比べれば新しく広い。場所的にも利用しやすいので、日々の清掃や保守管理に努め、本市として誇れる施設の一つであり続けてほしいと思っている。 ・成人式の予定日が定着したことは評価できる。式典での成人者の態度等が取り沙汰された数年前と比べ、今はずっとよくなっていると思うが、式典を続ける以上主催者側がき然とした強い姿勢で、今後も望んでほしい。 ・学級・講座開催状況は良好であると感じている。しかし、中央公民館と同じく人員的に対応が厳しいことへの改善策を早急に考えてほしい。 	

外部評価者（Ⅱ）の意見

評 価	B
<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和59年度竣工以来27年が経過し、設備故障等の修繕箇所が年々増加傾向にあり、計画的な整備計画を検討、策定され順次改善を図る必要がある。 ・成人式事業は、豊かな地域づくりを推進していくうえで、継続して実施することが望ましい。また、消防出初式との整合性については、成人の日を予定し、現在の形態で定着されることを要望する。 ・活動は、地域の文化活動の拠点として、地域と密着した学級講座の開設など、よりよく運営され地域住民の学習意欲と地域文化の向上に寄与している。 	

8 市民会館	項目(44) ～項目(47)
---------------	-----------------------

(44)	市民会館管理運営事業	評価	B
-------------	-------------------	-----------	----------

1. 平成23年度取組目標

地域市民の文化意識の高揚を図るため、芸術・文化事業を行い教養の向上に務め交流の場として、また文化振興、社会福祉の増進に寄与するための活動拠点としての管理運営を図る。

2. 取組の実施状況

地域市民の生涯学習の活動拠点として、多様化する市民ニーズに対応するため施設の管理運営を行い、また主催事業である教室・講座及びサークル団体等や各種団体相互交流の場としての推進を図った。

また、東日本大震災に伴い引き続き利用者に協力を求め節電に努めた。

3. 今後の課題と対応

施設の老朽化が進み継続的な施設改修を実施していく必要があり、また駐車場が狭く大規模なイベント等に対応が困難であるため、近傍の民間駐車場を借用するなどしているが、今後も課題解消に向け更に検討していく必要がある。

(45)	峰上地区公民館管理運営事業	評価	B
-------------	----------------------	-----------	----------

1. 平成23年度取組目標

地区公民館として地域住民の相互交流や生涯学習活動の拠点として、施設の充実と適正な運営を図る。

2. 取組の実施状況

地域の集会場として、また学習拠点として多様化するニーズに対応するため施設の管理運営を行い、地域住民や各種団体等の活動の場としての推進を図った。

また、東日本大震災に伴い引き続き利用者に協力を求め節電に努めた。

3. 今後の課題と対応

昭和38年9月開設の木造2階建ての施設で老朽化しているため、施設整備の点検等継続的に実施し管理運営に努めた。

(46)	市民会館学級・講座関係活動事業	評価	A
------	-----------------	----	---

1. 平成23年度取組目標

市民のため各種教室・講座を実施し、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、生涯教育の充実を図る。

目標項目	実績 平成23年度	計画目標 平成23年度	計画最終目標 平成27年度	達成状況
学級講座数	16学級	15学級	20学級	達成

2. 取組の実施状況

地域における市民の主体的学習活動を支えると共に、受講者ニーズを取り入れた教室や情報提供など学習内容の充実に努めた。

○ 平成23年度教室・講座開催状況

平成24年3月31日現在

講座の名称		開催回数	参加 延人員	講座の趣旨と内容
1	歴史探訪講座	9	224	地域の歴史を、文化、自然、人物、史跡などから発見、学習する。
2	パソコン教室	3	34	文書や表の作成、インターネットの接続等パソコン操作の初心者向け講習会。
3	子どもダンス教室	12	131	リズム感を養いながら、音楽に合わせて体を動かし、ヒップホップダンスの基礎を学ぶ。
4	煎茶道教室	8	65	玉露、煎茶、紅茶、番茶の点前をとおして、作法、所作を学ぶ。
5	折り紙教室	10	140	指先を使うことによる脳の活性化を図ると共に、一つの紙片から作られる芸術を折り紙づくりから学ぶ。
6	スローライフ楽塾	9	84	団塊世代を含め新たなライフスタイルを探求したい方を対象に、インドア・アウトドアを問わず様々な体験を通して学ぶ。
7	健康増進教室	2	56	ハイキングやウォーキングにより、地域探訪をしながら心と体のリフレッシュを図る。
8	バラエティ料理教室	11	162	和洋中華、アイデア料理など幅広い料理作りをし、併せて調理器具の使い方を学ぶ。
9	エコ・スクール	6	43	自然環境・動植物の環境から、ゴミ・リサイ

				クル等の学習や現地視察を行い、幅広く学ぶ。
10	子どもチャレンジ教室	5	104	家庭や学校では体験できない様々な学習を通して、自主性・社会性・創造性を育てる。
11	シルバー生きがい学級	9	385	高齢化が進むなかレクリエーションや学習を通じ参加者が相互の交流を図り仲間づくりをする。
12	パッチワーク教室	3	46	手芸を初歩から学び創作の工夫・意欲を高める。
13	花づくり教室	9	161	主に園芸店等で売られていない四季の花々の育て方を学ぶ。
14	証券学習講座	6	43	初めて「経済」や「金融」を学ぶ方を対象とし、難解な経済、金融の仕組みや用語を解説しながら「お金の流れ」や「自分でお金を守る」など新時代のマネーライフを学習する。
15	和菓子教室	10	216	日本古来から伝わる和菓子作りを、基礎から学ぶ。
16	草木染め講座	2	32	四季の中で育った草木を使い、染め物の染料とすることを考えた先人の知恵「草木染め」を学ぶ。
	合計	114	1,926	

3. 今後の課題と対応

- ・ 募集定員に満たない教室等は、追加募集などを行う。
- ・ PRの充実-----受講生からの口こみ勧誘。
- ・ 講師不足-----熟練受講生等の活用など。

(47)	市民会館文化事業	評価	B
------	----------	----	---

1. 平成23年度取組目標

文化事業を通して地域の方々の芸術的・文化的感性を養い、活力に満ちた意識の高揚を図る。

目標項目	実績 平成23年度	計画目標 平成23年度	計画最終目標 平成27年度	達成状況
市民会館 文化事業	926人	975人	1,115人	ほぼ達成

2. 取組の実施状況

市民会館文化事業は隔年事業として「ふっつ学びの門」実行委員会が実施し、今年度は富津公民館及び市民会館の2会場で同日開催した。

実施概要としては、平成23年10月16日（日）午前中に市民会館で音楽付影絵を午後から富津公民館で落語寄席を行った。実行委員の熱意と努力により参観者には大変好評であった。

参観者数・・・市民会館 317人 富津公民館 609人

3. 今後の課題と対応

従来通りであれば、次回開催は平成25年度となる。実行委員会での事前の検討を十分に行い、今後も市民の期待に応えられる文化事業の推進に努めたい。

外部評価者（Ⅰ）の意見

評 価	B
意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の生涯学習活動の拠点として、よりよい事業がなされていると思う。今後の課題にも取り上げられているが、講師不足については、身近な熟練受講生の活用を積極的に行うべきと考える。学んだことが身になり力となり、仲間に伝えていく姿こそ、本来の生涯学習の姿であると思う。 ・当施設を利用する時、いつも心配なのが駐車場である。毎年の課題になっているが対応策はないのか？大きなイベントがない場合でも自由に施設を利用したい人が心配なく止められる場所の確保をお願いしたい。 	

外部評価者（Ⅱ）の意見

評 価	B
意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成元年7月竣工で、中央公民館、富津公民館にくらべて、比較的新しい施設であるが、老朽化も進んでいる状況のなか計画的な施設改修を継続的に実施する必要がある。 ・駐車場については、借地である隣地の建物の撤去が可能かどうかを所管との協議等をふまえ十分検討され結論が出るまでは、近傍の民間駐車場を借用し対応せざるを得ないと思われる。 ・地域における市民のための学習活動をささえるため、地域と密着した課題を取り入れた教室講座など学習内容の充実を図りながら生活文化の振興教養の向上などに努力されている。今後も、益々事業を展開され地域の生涯学習の向上に努められたい。 	

9 教育委員会の広報活動	項目(48)
---------------------	---------------

(48)	教育かわら版の発行	評価	A
-------------	------------------	-----------	----------

1. 平成23年度取組目標

従前から、広報ふつつ等を活用して適時広報活動を展開してきたが、教育委員会が日頃行っている業務等について、市民に理解していただくために、平成20年度から「教育かわら版」を区長回覧を通じて全戸配布している。
今年度は、4～5号の発刊を目指す。

2. 取組の実施状況

6月・8月・10月・12月・2月に計5号（通刊16号）発行した。

3. 今後の課題と対応

開かれた教育委員会を目指す姿勢や、各種制度の解説などについて一部の市民からは高評価をいただいている。かわら版発行のための特別の予算措置や人員配置ができないため、業務増につながっているのも事実だが、今後も充実に努め市民サービスの向上に寄与したい。

外部評価者（Ⅰ）の意見

評 価	A
意見 ・かわら版の発行回数が前年より増え、20年度からの取り組みが充実してきている特別な予算措置や人員配置がない中での取り組みだが、今後もぜひ継続していくことを願っている。	

外部評価者（Ⅱ）の意見

評 価	A
意見 ・開かれた教育委員会として、教育かわら版の発行は日頃の業務内容や教育課程等広く市民に理解していただくため大変良いことと評価します。今後、更に見やすい紙面づくりと広報ふつつ等との整合性を図り、直面するあらゆる教育問題を含め市民に情報を提供し理解を得るため、事務量の増につながり厳しい面もあると思いますが市民サービスの向上のため最善の努力をお願いしたい。	

